

## 親子で楽しみながら「県議会」を体験。

令和3年8月7日に開かれた「夏休み！親子県議会教室」には、小学校高学年の児童と保護者22組44人が参加しました。議事堂探検やクイズなどを通して県議会の役割や仕組みを学ぶとともに、議員とのふれあいトークでは、積極的に質問や意見を発表しました。



### 参加者の感想

**高橋 心暖さん** (八幡平市・寄木小学校6年)  
県議会では、私たちの学校関係のことだけでなく、福祉や防災などいろんなことを議論しています。本会議のほかにも、各種委員会があることも教えてもらい、勉強になりました。県議会クイズは全問正解できて楽しかったし、議員さんとの名刺交換はちょっと緊張したけど大人になった感じがしました。

**保護者の高橋 潤さん**  
新聞や県議会だよりで今回の教室を知り、子どもも行きたいというので参加を決めました。普段見ることのない議場の裏側や委員会室を見ることができ、良い経験になりました。子どもたちも何年かすれば選挙権を持つので、今回の体験を忘れず社会情勢に興味を持ってもらいたいと思います。

**長澤 知弥君** (紫波町・彦部小学校6年)  
議事堂探検では普段見られないところを見学し、議長室と副議長室が2つの扉でつながっているところが面白かったです。実際に議長席に座ってみたのですが、座り心地がよくて楽しかったです。県議会の基本的な仕組みは国会と同じだと感じました。また、現在の女性議員の人数は7人で全国平均より高い割合だということが印象に残りました。

**保護者の長澤 恵里子さん**  
普段は経験できないことをやってみたかったので、今回の親子県議会教室はチャンスだと思いました。議員さんの話を直接聞けるいい機会です。議員さんたちは子どもたちが対象なのでわかりやすく話してくれ、有意義な一日でした。たくさんの人に県議会を知ってもらうためにも、このような機会がもっとあるといいなと思います。



「いわた県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テープ版・デジター版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。



ホームページのご案内  
議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続などをご覧ください。  
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

編集・発行・問い合わせ先

岩手県議会事務局  
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号  
電話 (019) 629-6021・6022  
FAX (019) 629-6014  
E-mail [gikai@pref.iwate.jp](mailto:gikai@pref.iwate.jp)



岩手県庁の隣です

## 12月定例会

12月定例会は、11月25日から12月8日まで開催されました。知事から提出された特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例など、19件の議案は全て可決・同意され、議員・委員会が提出したガソリン価格高騰時における揮発油税及び地方揮発油税の特例税率適用停止を求める意見書など14件の議案は全て可決されました。請願は4件が採択、2件が継続審査となりました。



採決の様子

### 議決の状況

◎令和3年度補正予算案【可決】

一般会計2件

◎条例議案【可決】

特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例など12件

◎人事議案【同意】

収用委員会の委員及び予備委員の任命に関し同意を求めることについて1件

◎その他の議案【可決】

財産の取得に関し議決を求めることについてなど4件

◎議員・委員会提出議案【可決】

意見書14件(詳細は2ページに掲載)

◎請願

採択4件、継続審査2件(詳細は下記に掲載)

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

### 請願の採択状況

◎採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択)

- ▶国民医療を守ることを求める請願
- ▶私学助成の充実強化等に関する請願
- ▶私学助成を拡充させ、教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

▶精神保健医療福祉の改善に関する請願

◎継続審査

- ▶東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出基本方針を撤回し、安全な処理、保管方法の確立を求める請願
- ▶介護保険施設における補給給付の見直し中止を求める請願

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

## 議員・委員会が提出した議案

今定例会では意見書14件が可決されました。可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

### ◎意見書

- ▶ガソリン価格高騰時における揮発油税及び地方揮発油税の特例税率適用停止を求める意見書
- ▶私学助成制度の充実を求める意見書
- ▶国民医療を守ることを求める意見書
- ▶精神保健医療福祉の改善を求める意見書
- ▶原油価格高騰への総合的な対策を求める意見書

- ▶女性と子どもの自殺増を受け対策を求める意見書
- ▶いじめ対策の強化を求める意見書
- ▶豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書
- ▶デジタル社会の実現に向けた支援等を求める意見書
- ▶移転跡地の利活用に向けた措置を求める意見書
- ▶有害鳥獣被害対策の継続・拡充を求める意見書
- ▶漁業生産力の発展に向けた支援の充実・強化を求める意見書
- ▶幼児教育・保育の無償化に関する意見書
- ▶経済的に困窮する学生への支援について要件の緩和を求める意見書

★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

## 県政に関する質問から

12月1日から12月3日まで行われた一般質問では、9名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

## 12/1(水) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。  
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止の亚克力板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。



### 災害時の情報収集・提供体制

**問** 県や市町村がマルチネットワークシステムを構築し、災害時にドローンを含めた各種デバイス機器が収集した画像情報を共有することにより、いち早い災害状況の把握や対策に効果があると考えますが、今後、防災機能の強化にどのように取り組むのか伺う。

また、県警察本部のヘリコプターによる災害時の現場映像などを市町村に提供するなど有効活用を図るべきと考えますが、所見を伺う。

**答** ドローンは画像の取得に優れた性能を有しており、令和3年9月に実施した岩手県総合防災訓練では、北上市および西和賀町で、ドローンを活用した土砂災害現場などの被害状況調査の訓練を行った。ドローンやヘリコプターなどの映像の活用や画像情報の共有は、速やかな災害状況の把握や救出・救助活動、応急復旧対応の遂行に有効と考えられることから、今後、市町村や防災関係機関などの意見も伺いながら、防災機能の強化につながるよう情報収集していく。

県警察本部では、現時点で市町村との間の映像配信システムが構築されていないことから、県防災課との既存の映像配信システムの利用などを含めて、市町村の意見や要望を伺いながら、現場映像の有効活用について検討を進めていく。



防災ヘリコプター

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 本県林業の振興とウッドショック
- 3 アワビ資源の回復
- 4 里親の育成と支援 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### 「未来に向けた米づくりビジョン」の策定

**問** 今後の米づくり農家の安定的な所得確保に向けて「未来に向けた米づくりビジョン」を示すべきと考える。ビジョンづくりに向けて、農家の実態と方向性のアンケート調査を行うべきと考えるがいかがか。

**答** 県では、平成27年に、本県の米づくりの方向性を示す、いわての美味しいお米生産・販売戦略を策定し、3年ごとに見直しを行いながら高品質・良食味米の生産などによる売れる米づくり、県オリジナル品種のブランド化による県産米の販売促進や消費拡大に取り組んできた。こうした取り組みにより、令和2年産米の一等米比率は全国1位となったほか、飲食・宿泊施設などで県産米を常時提供する店舗数は、戦略策定前と比べて、約3倍に増加している。

また、新型コロナウイルス感染症の影響などによる米の需要や消費の変化などに対応するため、令和3年3月に、いわてのお米ブランド化生産・販売戦略を新たに策定した。この戦略には、生産者や関係機関、有識者の意見を踏まえ、生産、販売などの具体的な取り組みを盛り込んだところであり、今後とも関係機関・団体と緊密に連携しながら、需要に応じた米生産と水田のフル活用により、農業者の所得向上が図られるよう全力で取り組んでいく。



穂ぞろい頃の風景

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事の政治姿勢
- 2 学校教育の充実
- 3 消防指令業務の共同運用
- 4 I L Cの推進

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### 奥州市における市立病院の再編計画

**問** 奥州市が発表した新市立病院の開設を前提とする病院再編計画は、胆江圏域の地域医療構想に照らして望ましいといえるのか。また、県は、地域医療構想の策定主体として、進まない医療構想の原因となっている奥州市立病院の再編計画に積極的にコミットしていくべきと考えますが、所見を伺う。

**答** 奥州市の市立病院再編計画における病床数および医療機能に関する方向性は、昨年度の胆江圏域地域医療連携会議で了承された奥州金ケ崎地域医療介護計画に沿って、急性期病床の減床を図りつつ、回復期病床、急性期医療、在宅医療、感染症対応に関する機能を維持するなどとしており、地域医療構想を踏まえたものと認識している。

また、市立病院・診療所の統合・再編や立地などに関する具体的な計画は、奥州市において検討されるべきものであり、地域の医療体制に大きな影響を与えることから、地域住民や医療関係者などの十分な理解と合意を得ながら進める必要があると考えている。

県としても、奥州市に対して今後の協議の進め方に関する助言を行うほか、地域医療構想調整会議に病院経営に精通したアドバイザーを派遣するなど、地域住民や医療関係者とのコンセンサスが早期に得られるよう支援していく。



地域医療構想調整会議の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 国の経済対策
- 3 市町村の行財政運営
- 4 誘致企業の規模拡大 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



## 用語解説

▶**県本部員会議(3ページ)**…知事、副知事、各部局長等で構成し、新型コロナウイルス感染症対策の総合的な方針決定ならびに各部において実施する新型コロナウイルス感染症対策の連絡および調整等を行う。

▶**DX(4ページ)**…デジタルトランスフォーメーションの略。データとデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、文化・風土を変革すること。

▶**5G(4ページ)**…第5世代移動通信システムの略。令和2年3月、日本での商用サービスが開始された。超高速・大容量に加えて、超低遅延および多数同時接続といった要件を備え、機械や車両などへの搭載により産業や社会の効率化や利便性の向上、新たな付加価値を創出するための基盤としての活用が見込まれる。

若者向け傍聴案内ポスターデザイン  
コンテスト入賞作品の中から、  
12月定例会のポスターを作成しました。

岩手県立福岡高等学校 **紺野 智瑚** さん

若者世代に県議会をより身近に感じてもらうために、議会で議論されている私達にとって身近に関わる事をアイコンで表現し、シンプルで分かりやすいデザインを心掛けてポスターを作成しました。

ポスターを見てくださった県内の方々が県議会に興味を持ち、岩手県を見つめ直すきっかけになれば幸いです。私も一緒に未来の岩手を築いていきたいと思っております。



## 12/2(木) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。  
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止のアクリル板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。



1人目

いわて県民クラブ

佐々木 努 議員

奥州選挙区



2人目

希望いわて

岩渕 誠 議員

一関選挙区



3人目

自由民主党

川村 伸浩 議員

花巻選挙区

### 市と県の垣根を越えた病院の 統合再編

**問** 今後一層人口減少が進み、医療需要もますます減少する中で、自治体にとっては、いかにして健全な病院経営を行っていくかが重要な課題である。奥州市では市立病院間の再編が進められているが、県立病院も含めた統合再編議論なくして、将来的な安定した医療体制の構築は実現しない。

県においては、市と県の垣根を越え、医師確保や経営面で素晴らしい実績を上げている山形県酒田市の日本海総合病院のような統合再編を進めるべきと考えるが、所見を伺う。

**答** 奥州市の市立病院の再編・統合については、市議会などで議論が行われている段階と承知しており、県としても、議論の行方を注視しているところである。

限られた医療資源を有効に活用し、地域に必要な医療提供体制を構築していくためには、経営的な効率化の観点も必要であり、医療機関の再編統合も一つの方法ではあるが、それありきではなく、地域の医療課題を踏まえ、医療機能の転換、医療と介護の連携など、様々な視点から丁寧に議論を進めることが重要である。県としては、地域医療構想調整会議など地域の関係者による協議の場において、将来のあるべき医療提供体制の実現に向けた積極的な議論がなされるよう、引き続き取り組みを進めていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 少子化対策
- 3 県南振興
- 4 農業振興 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### 食産業の振興

**問** 食産業は主要な産業の一つであるが、県としての戦略が描き切れていないものも数多くあり、その分、伸びしろもあると考える。食産業を岩手の成長産業として明確に位置づけていくことが、一次産業の現場にも波及する効果を生み出すと考えるが、所見を伺う。

**答** 本県の令和元年の食料品製造業の製造品出荷額は、輸送用機械器具製造業に次いで第2位となっており、食産業は本県の基幹産業の一つとして地域経済の牽引役を担っている。

県では、専門家派遣やいわて希望応援ファンドによる助成などを通じて、県産食材を活用した付加価値の高い商品づくりを支援するとともに、県内外での商談会の開催などにより販路の拡大に取り組んできた。

こうした取り組みにより、県産の米粉や小麦粉を使用した麺、スイーツ、パンなどの独自商品が多数開発・販売されており、今年度は消費期限などの関係から県外への出荷が難しかった食品を西日本へ航空機で輸送するなど、新たな販路開拓にも取り組んでいる。

今後も全国有数の食料供給県としての強みを生かしながら、高品質で魅力ある商品づくりを進め、販路開拓までの一貫した支援を行い、食産業の振興を図っていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 行財政運営
- 2 農業政策
- 3 I L C
- 4 生殖補助医療

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### 飲食店利用などウィズコロナでの 制限緩和に向けた情報発信

**問** ウィズコロナに向けた県民への情報発信の強化を行う必要があると考えるが、県民への情報発信のあり方について、所見を伺う。

**答** 岩手緊急事態宣言を解除した後、いわての食応援プロジェクトの食事券の販売や、いわて旅応援プロジェクトを再開し、新聞広告やテレビCMで情報発信するなど経済活動の活発化に向け早期に対応してきた。

また、飲食業関係団体からの利用客が十分に戻らないという声を受けて、**県本部員会議**を開催し、会食時の人数制限はしていないこと、飲食店の感染対策に協力のうえ会食を楽しむことなどを知事から県民に呼びかけた。

今後は、現在の感染リスクが低い状態を維持することが重要であり、県内で感染拡大の兆候が見られた場合には基本的な感染対策の徹底を呼びかけ、感染拡大に至った場合には感染拡大防止のための強い措置など、早期の収束に向けて、県民にメッセージを出していく。

県本部員会議での知事メッセージをはじめ、県ホームページや広報媒体の活用、新聞紙面広告の掲載、関係団体への周知などにより、県民一人ひとりが新型コロナウイルス感染症に関する情報を広く入手し、自らの行動に生かしていただけるよう、情報発信に努める。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事の政治姿勢
- 2 県立病院における医師の働き方改革への対応
- 3 花巻・北上地域における企業立地の課題と推進方策
- 4 農業振興 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。





1人目

希望いわて

いわき げん  
**岩城元** 議員

久慈選挙区



2人目

自由民主党

よない ひろまさ  
**米内紘正** 議員

盛岡選挙区



3人目

日本共産党

たかだ いちろう  
**高田一郎** 議員

一関選挙区

### 県北地域における浮体式洋上風力発電に対する県の取り組み

**問** 県では、2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことを表明し、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーの有用性が非常に高まっている。とりわけ洋上風力発電は地球温暖化対策への効果的手段として注目されている。久慈市沖や洋野町沖で行われている洋上風力発電の調査状況を伺う。また、今後、早い時期に有望区域や促進区域に選定されるよう県としても取り組むべきと考えるがいかがか。

**答** 海洋再生可能エネルギーの導入促進は、三陸のポテンシャルを活かした脱炭素社会の構築をはじめ、海洋エネルギー関連産業の創出による地域活性化などに資する重要な取り組みと認識している。現在、久慈市沖では生態系への影響調査、浮体式洋上風力発電設置のための環境調査などが進められている。また、洋野町沖では陸上での風況調査、漁業実態調査などの準備が進められている。

県では、三陸沖の各種調査研究などから得られたデータや知見を関係者に提供し、国との調整を図るなどの支援を行ってきた。

引き続き、関係自治体などと連携を図りながら、早期の区域指定を国に働きかけ、海洋再生可能エネルギーによる三陸地域の新たな価値創造に取り組んでいく。



■上記のほかにも、下記についても質問をしています。

- 1 脱炭素社会への取り組み
- 2 災害対策
- 3 第一次産業の振興
- 4 国道281号の整備と沿線山間部における携帯電話不感地域の解消 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### デジタル技術の推進

**問** 県はデジタル技術を用いてどのような地域の実現を考えているのか、具体的な構想と道筋を伺う。また、実現に向けてステークホルダーをどのように巻き込み、国とどのように関わっていくのか伺う。

**答** 県では、来年度の予算編成の重点テーマであるデジタル化による地域課題の解決に向けて、行政のDX、産業のDX、社会・暮らしのDX、DXを支える基盤整備の4つの方針のもと、各種施策の検討を進めている。また、部局横断で構成する岩手県DX推進本部や、産学官金連携のいわてDX推進連携会議を設立し、オール岩手で本県におけるDXを推進しているほか、デジタル化の基盤となる5Gの整備促進や専門人材の確保・育成など、自治体DX推進のための支援などについて国に要望している。

国は、地方からデジタルの実装を進め、地方と都市の差を縮め、都市の活力と地方のゆとりの両方を享受できるデジタル田園都市国家構想の実現を図るとしており、その動きも踏まえて行政、商工業、農林水産業など各分野のデジタル化の取り組みを一層充実させていく。

今後、いわてDX推進連携会議の取り組みを通じ、誰一人取り残さない、全ての県民がデジタル化の恩恵を享受できる岩手を目指していく。



■上記のほかにも、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 衆議院議員総選挙の結果
- 3 いわて県民計画(2019~2028)および第2期岩手県ふるさと振興総合戦略の推進
- 4 水道事業

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### 医師・看護師の増員計画

**問** 県南の公立病院では1病棟をコロナ病床にしたために他の病棟の病床利用率が100%となり、大変な困難の中で診療に当たる状況となった。

県は今後の感染に備え、コロナ病床400床、宿泊療養施設370室を整備する計画だが、コロナ対応を行うには、医師・看護師の増員が必要であり、どのような対応を考えているのか伺う。

**答** 本県では、新型コロナウイルス感染症の対応に際し、適切な医療を提供するとともに、一般医療への影響を最小限にとどめ、限られた医療資源を有効に活用することを医療体制の方針としている。医療従事者の体制は、各医療機関において、職員の配置換えなどにより計画的に対応していると認識している。

県立病院においては、多忙となっている病院に対して病院間の医師・看護師の相互応援などを行っており、看護師は、応援体制強化などのため、今年度から36名を増員して配置していると聞いている。

また、宿泊療養施設の看護師は、会計年度任用職員や人材派遣会社への委託などにより体制強化を図ってきた。これらに加えて、今後、さらに増員が必要な場合に備えて、民間の医療機関からの応援体制も構築している。



■上記のほかにも、下記についても質問をしています。

- 1 米価の大暴落と岩手の農業
- 2 第二次岩手県地球温暖化対策実行計画の見直し
- 3 介護保険制度
- 4 憲法改正とオスプレイ参加の日米合同訓練の問題 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



## 県議会からのお知らせ

### ●インターネット中継

県議会ホームページでは、**本会議や予算・決算特別委員会の模様をライブ中継しているほか、録画中継も行っています**ので、ぜひご覧ください。

### ●本会議のYouTube配信

一般質問等の様子をYouTubeで動画配信しています。岩手県議会公式動画チャンネルからご覧ください。

岩手県議会公式動画チャンネル 検索



### ●テレビ広報 県議会ダイジェスト番組「きょうの県議会」

一般質問が行われた日に、質問の様子を3分程度にまとめた番組を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビは18時50分台、岩手朝日テレビは18時40分台に放送します(放送時間に変更になる場合があります)。

### ●請願の提出について

請願の提出には、**県議会議員の紹介(署名)が必要**です。請願を提出する方は、**審査を希望する定例会の招集日までに会派など(議員)に対して十分に説明**を行い、議員の紹介を

受けた上で、請願審査が行われる**常任委員会開催予定日の3日前の正午**までに県議会事務局に提出してください。

なお、提出期限などの具体的な日時は、定例会ごとに会期などと併せてホームページでお知らせします。

### ●一般質問に登壇する議員と質問項目

各定例会で一般質問に登壇する議員と質問項目は、**定例会開会日の本会議終了後に県議会ホームページ**でお知らせしています。

県議会ホームページで「一般質問通告」をクリック!

### ●県議会ホームページをリニューアル

県議会ホームページについて、**音声読み上げや文字サイズ・配色の変更など、どなたにも利用しやすい環境**としたほか、岩手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「わたしたちの岩手県議会」を新たにYouTubeに公開するなどのリニューアルを行いました。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

